ゲーム戦争

アルバイト2号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ゲーム戦争

【Ｎコード】
Ｎ９３６２Ｗ

【作者名】
アルバイト２号

【あらすじ】
夏休みを楽しむ悠斗に、ついにゲーム機が到着する。
戦争モノのゲームを起動したが、ん……あれ？

1

「来たー！」
ついに来た！　俺の求めていたＰＦ３！　Ａｍｕｚｏｎ（アムゾン）で発注していたのがついに！
ふふふ。去年高校受験を無事終えることができ、今は夏休みという俺に、時間の死角など無い！存分にゲームを楽しもう！
ちゃんとゲームソフトも同時発送してもらって、いま手元にある。中学時代の友達から薦められた、戦争モノゲーム。装備も充実していて、ネット対戦も大人数で可。一年前のゲームだが、まだかなり人気があるらしい。
さっそくプレイ。いろいろなよくわからないコードをテレビに繋ぎ、コンセントにプラグを差し込み電源オン！すかさずディスクを入れる。
「おお」
綺麗だ……。グラフィックが綺麗だ。まだスタート画面だが、つい口に出してしまうほど綺麗だった。
えっと、さっき入れたソフトは……これか。〇ボタンを押して決定。ゲームが起動に入った。
あ、そうだ。薦めてくれた友達にメールを送っとこう。メアド変わってないといいけど。
『ＰＦ３買ったよ。今から、前薦めてくれたやつ……名前なんだっけ？　それやるよ』
こんなもんでいいか。送信ボタンを押して、テレビに向かう。会社名とかが書いてあった。
＞残酷な～天使の……＜俺の着メロが流れた。
『おおそうか！　じゃあ今から二十三番目の部屋に来てくれ』というメール。
返信早いなーなんて思いながら、『おｋ。今から行くから待って

て』と打ち、送信。

【STARTボタンを押してください】という画面が、気がついたら出ていた。コントローラに慣れてないためボタンの把握が大変だ。そのうちすぐに覚えてしまうのだろうが。

　ボタンを押して……メニューが多いな。どれがオンラインだろう？　そんな疑問は数秒したら解決した。対戦って書いてあるし……。

　うちは父親がパソコン類に詳しいから無線LANが完備されている。つまりすぐにオンラインに行けるわけだよ、ワトソン君。うっひゃぁ！　テンション高すぎて気持ち悪いわ。

【あなたが使うユーザー名を入力してください】と表示されたディスプレイを見つつ、コントローラを見つつ名前を決めた。俺の名前は「悠斗」だが、「ゆうと」と「ユウト」は使われていたから仕方なく、「ユート」にした。まあ仕方ない。うん、仕方ない。

　こりゃまた部屋がいっぱい。あいつがいるのは確か二十三番目の部屋だったか。二十三と書いてある部屋を探して三千里。もせずにすぐに見つかった。

【入室しますか？】に【はい】を選択し、画面が切り替わる。

あ、結構人いるなぁ。『お前の名前って何？』と、友達に送信。すぐに返ってきた。『俺は夜桜坂（やおうざか）だよ』とのこと。また痛い名前つけたなぁ。でもほかの人を見ると、結構変なのが多い。「きざみ」、「セミの人」。なんか自分の名前付けた自分が恥ずかしい。

【おーい】

なんだこれは。チャットか？おーいと言って俺に近づいてくるやつ一名。ユーザー名【夜桜坂】。あいつだな、これ絶対。俺もチャットしようと思って……どこだよチャット画面。適当に◯ボタン押しまくってたら、なにかが出た。

【ライセンスが発行されました。ようこそ！】

これを見た瞬間、意識が遠のいた気がした。

2

ん……。ん……？　なんか今なった？　時間でも止まった？
ま、いいや。なんか頭痛いけど。
で、えーっと、ライセンスゲットだっけ。なんだろう、このライセンス。何に使うんだ？　あとであいつに聞いておこう。
さてっと。やるか！　このゲーム！　グラフィックはかなりいいけどクソゲー……ってことはないだろ！
とりあえず動き方は分かったが、どうやってステージに……？
チームとかどう組むんだ？
『そっからどうすればいい？』
メールを打って、そこらへんで動き回りながら待機。
『んにゃ、ちょい街』
おいおい、誤爆してるぜ。
言われたとおり、ちょい待つ。なにも起こらんが？
〈ポンくん？　なんじゃこりゃ。
『神夜の騎士団より招待状が届いています。』
神夜の騎士団？　厨二病臭いネーミングだな、こりゃ。とりあえずメールっと。
『なあ、この深夜』くそ、変換でないんかい！
まず、かみ……「紙」違う、「髪」じゃなくて、「神」あったあった。面倒くさいな、まったく。
あとは「夜の騎士団」っと。
『なあ、この神夜の騎士団ってやつ？』
やっとできた　文面を送信。
『そうそう。その中入って』
相変わらず返信が速いやつだ。携帯のまえでいつでも待機してるのか？
言われたとおり、招待状を見て、その騎士団とやらに入る。

へぇ……。結構人少ないな。いるのは三人。俺を含めて四人。
『お、新入りか』
なかの団長という名前の人がチャットを打ってきた。
『よろしくおねがいします』
チャットの打ち方なら、すでに解析済みさ！
『よろしくー』
『じゃあ、とりあえず一戦やる？』団長ではない、「マモル」という人だった。
『おう』夜桜坂。
『あ、ライセンスもってる？』団長だ。
『持ってます』と、すぐさま打つ俺。
『よし、じゃあGO！』

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9362w/

ゲーム戦争

2011年10月23日07時06分発行